

特別支援学級（知的障がい/自閉症・情緒障がい）生活単元学習指導案

日 時 平成24年11月8日（木）4校時

学 級

授業者

1 題材名 「校外学習を成功させよう」

2 題材について

(1) 生徒について

本校の特別支援学級（山中学級）は知的障がい学級が2名、情緒障がい学級が1名で構成されている。

生徒は、最後まで人の話を聞く、話の要点をつかむ、質問の意図が理解できる、自分の考えを根拠や理由を持ち述べるなどの言語力、コミュニケーションの能力が充分でない。

そのために、授業全般の配慮として、自分の考えや情報を適切な言葉を使って書いたり話したりする活動と共に、お互いの意見交換を通して、自らの考えや集団の考えを発展させたり、まとめたりする活動「かかわりを生かした言語活動」が必要であると考えます。

3年生1名は生徒は、1年次は不登校傾向があったが、徐々に改善され、登校時には遅れるものの登校している。1年生の2名は、入学当初は中学生活によく適応していたが、次第に思春期特有の自我意識が芽生え、自分の興味関心がある時だけ交流学习にいたり、自分の意にそぐわない注意を受けると、素直に改めようとしなないなどの傾向が目立つようになり、より配慮した支援が必要である。

個々の生活と学習の様子は以下の通りである。

学年・性別	生活の様子	学習の様子
A：中1男子 (情)	欠席や遅刻はほとんどない。 集団行動が苦手な、特に運動会や文化祭の練習は拒むことが多い。一人で物を作ったりすることを好む。 こだわりが強く、注意されたり自分の要求が通らないと感情をコントロールできずに心を閉ざしたり、教室を飛び出すことがある。	手先が器用で物を作ることに興味、関心が高い。 興味のある活動には取り組むが、興味が持てない活動には参加することができない。 家庭学習は半分以上は取り組むことができる。
B：中1女子 (知)	欠席や遅刻はほとんどなく、天真爛漫な性格であるが、情緒的には非常に幼い。最近では自我が目覚めてきて、注意されても素直に直せないことが多い。	技術、家庭科などの物づくりが好きである。ビーズ作品作りには関心が高く、家族や友人のためのプレゼントとして平面の作品を意欲的に作ってきた。
C：中3男子 (知)	初対面の人や新しい環境、初めて取り組むことに、大きな不安を感じる傾向がある。そのため、山中1組で皆と一緒に取り組むことが難しい状況である。 無口でありあまり反応しないが、なれた人には話をし、通常学級に友人もいる。	手先が器用で細かい作業も丁寧に取り組むことができる。現在は山中学級2組で、個別に学習をしている。

(2) 題材について

特別支援学校学習指導要領第1章総則第2節第1の4「学校における自立活動の指導は、傷害による学習上、または生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」とある。

それを受けて、山中学級では、例年、生徒の興味・関心が高い内容である校外学習を生活単元学習の題材に取り入れ、社会生活に必要な資質を培うことを図ってきた。

今年度は、平泉前沢方面の施設や史跡を訪ね、自分達の住む地域の良さを発見したり、社会生活に必要な資質を発見させたい。

具体的には、公共の交通機関の利用の知識や方法、車内や訪問先の礼儀作法、他者から依頼された買い物の仕方、係活動における責任感の大切さと共に、世界遺産についてや、郷土の歴史など、教科と領域を合わせた、多くのことを主体的に学ぶことができると考える。

以上のねらいを達成するために、よりきめ細かな手立て、支援のありかたを考え、準備する必要がある。

(3) 指導について

生活単元学習の指導の効果を高めるため、生徒が興味関心をもって落ち着いて活動し、成就感を味わうことができるよう留意したい。

具体的には、取り組みの見通しをもたせる、活動の要点を視覚化する、自分達の活動をふりかえる場面を持つ、学級以外の人との関わりを合い持たせるなどの手立てを取りたい。

また、話し合い活動を通して、安易に人の意見に従ったり、反対に自分だけの考えを押し通すのではなく、「自分や集団が発展する話し合い」の基礎的な態度、方法を学ばせたい。

「自分や集団が発展する話し合い」の基礎とは、以下のように捉える。

- 1 他者の話を尊重して最後まで聞く。（話は耳、目、心で聞こう）
- 2 自分の考えの根拠や理由も添えて話す。（どうして？もつけ足して話そう）
- 3 他者の意見に対して反応する。（うなずく、「わかりません」「もう一度言ってください」）

また、3年生のCについては、なるべく学級の皆と取り組ませたいが、難しい場合は別室でもできる課題を用意して、少しでも校外学習に参加したという気持を持たせたい。

3 単元の指導・評価計画

(1) 単元の評価規準

- ① 公共の交通機関の利用の仕方や、車中や訪問先での礼儀作法、安全な行動の仕方を学ぶ。
- ② 「自分や集団が発展する話し合いの仕方」を心がけて、訪問先や係について話し合うことができたか。
- ③ 皆と協力して安全に行動することができる。

(2) 時間ごとの指導・評価計画（合計15時間）

時	学習内容	学習目標	評価規準	評価方法
1	オリエンテーション ・校外学習って何か な？	・校外学習のねらい や取り組み日程を 把握する。	A：安定した気持ちで、最後 まで目的に合った学習ができた か。 B：話をよく聞き、最後まで 目的に合った学習ができたか。 C：校外学習の日時やねらい の概要を把握することができる。	・観察 ・プリント
2	事前学習 ・どんなところに行く	・訪問先の概要につ いて事前に調べる。	A：安定した気持ちで、最後ま で目的に合った学習ができたか。	・観察 ・プリント

3	のかな？		<p>B：訪問先の概要について、簡単に調べることができる。</p> <p>C：別室でも、訪問先の概要について、簡単に調べることができる。</p>	
本時 4	訪問先と係決め ・訪問先を決めよう	・訪問先と係を自分達の話し合いで決める。	<p>A：安定した気持ちで、相手の話の内容を最後まで聞くことができたか。</p> <p>B：相手の話の内容を最後まで聞くことができたか。</p> <p>C：別室でも、訪問先の概要について調べることができたか。</p>	・観察 ・プリント
5 6 7	係活動 ・自分達の手で行事を盛り上げよう	・自分の係活動を行う。	<p>A：安定した気持ちで、最後まで目的に合った取り組みができたか。</p> <p>B：話をよく聞き、最後まで目的に合った取り組みができたか。</p> <p>C：別室でも、訪問先の概要について調べることができたか。</p>	・観察 ・プリント
8	最終確認 ・校外学習の準備を確認をしよう	・日程や持ち物、係活動を確認する。	<p>A：安定した気持ちで、最後まで目的に合った学習ができたか。</p> <p>B：話をよく聞き、最後まで目的に合った学習ができたか。</p> <p>C：別室でも、訪問先の概要について調べることができたか。</p>	・発表 ・プリント
9 10 11 12 13	郊外学習 ・皆と協力して校外学習にでかけよう	・皆と協力して、安全に行動する。	<p>A：皆と協力して、安全に行動できたか。</p> <p>B：皆と協力して、安全に行動できたか。</p> <p>C：皆と協力して、安全に行動できたか。（参加できない場合は、学校で個別の課題を行うことができたか。）</p>	・観察
14 15	事後のまとめ ・校外学習のまとめをしよう	・校外学習の反省と記録写真の掲示作りに取り組む。	<p>A：安定した気持ちで、最後まで目的に合った学習ができたか。</p> <p>B：話をよく聞き、最後まで目的に合った学習ができたか。</p> <p>C：別室でも、最後まで目的に合った学習ができたか。</p> <p>（参加できなかった場合は、個別の学習課題を行うことができたか）</p>	・発表 ・プリント

4 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 「自分や集団が発展する話し合いの仕方」を心がけて、話し合うことができたか。
- ② 訪問先や係を決めることができたか。

(2) 評価規準

- ① 相手の話を最後まで聞くことができる。
- ② 自分の意見に理由をつけて話すことができる。

(3) 本時の展開 (評価の○は本時の目標にかかわる評価、●はその他の評価)

段階	学習内容	形態	指導上の工夫及び留意点	評価(観点、方法)
導入 (7)	1 前時の学習内容の発表	一斉	・前時に学習した3つの訪問先についてのカードを生徒が貼りながら、説明をさせる。	●相手にしっかり伝わるように説明できたか。
	2 学習課題の設定	一斉	・学習プリントに記入させる。	
自分やみんながどんな訪問先と係を希望するか理由をつけて話し合おう。				
	3 行きたい訪問先を3つの場所から1つ選び、理由も記入する。	個別	・平泉の地図と訪問先を書いたカードを使って考える。	●希望の訪問先を選ぶことができたか。
展 開 (38)	4 希望する訪問先について発表する。	個別	・自分の考えた訪問先と理由を黒板の地図にカードをつけながら発表する。 例「私は、～だと思えます。理由は～だからです。」	○評価規準①②(観察)
	5 2つの訪問先を決める。	一斉	・以下の点に注意して話し合う。 ①話は耳、目、心で聞こう ②どうして?もつけ足して話そう。 ③質問する。うなずく。「わかりません」「もう一度言って下さい」 ・どうしても決められない時は、先生方も含めた多数決で決める。	○評価規準①②(観察)
	6 校外学習の係を決める	個別 一斉	①学習プリントに記入させる ②自分の希望を発表する。 ③話し合っで決める。 □2つの係から1つを選ぶ。 ※ 時間に余裕がない場合は次時に行く。	●希望の係を選ぶことができたか。
言語活動：互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる活動⑥				
終末 (5)	7 本時の学習を振り返る	個別	・自己評価プリントに記入し、挙手で発表する。	
	8 次時は自分の係活動に取り組むことを告げる			